

平成 28 年 7 月 1 日

「認知症・せん妄サポートチームが介入した患者の実態調査」に関するお知らせ

せん妄は、高齢の方や身体疾患が重症となった方、または緊急入院などで発症しやすいと言われていています。しかし、せん妄は早期に適切な介入やケアを行うことで重症化を防ぐことが出来るとも考えられています。また、認知症がある方が病気となり、住み慣れた場所から入院するといった環境変化を受けると認知症の周辺症状が悪化することが多く、ADL や生活の質が低下してしまう、本来受けるべき治療が受けられなくなるといったことがあります。

兵庫県立尼崎総合医療センターでは平成 27 年 7 月より認知症・せん妄サポートチーム (DDST) が発足し、入院中の認知症がある患者さんやせん妄で困っている患者さんに、医師・看護師・薬剤師・精神保健福祉士・作業療法士が協働し専門的なサポートチームとして関わっています。そこで平成 27 年 8 月 1 日から平成 28 年 7 月 31 日までの間に、実際に DDST がサポートを行った患者さん (約 300 名) の身体状態をはじめとする各データを電子カルテの記録より集めて実態調査を行います。

この研究は、通常の日常診療で得られる結果を集めるだけですので、新たに特別な治療や検査が行われることはなく、患者さんに何らかの利益または不利益が生じることはありません。また、患者さんの住所・氏名などの個人を特定するような情報は当院の研究担当者以外の第三者に知られることはありません。結果は学会や医療系論文等で発表する予定ですが、ご自身のデータが当該調査に使用されることに対して異議がある、もしくは研究の内容を詳しく知りたいという場合には下記の連絡先にお申し出下さい。

当院における連絡先：兵庫県立尼崎総合医療センター 看護部
リエゾン精神看護専門看護師 吉田直江
〒660-8550
尼崎市東難波町 2 丁目 17 番 77 号
TEL：06-6480-7000
FAX：06-6480-7001